

ミシガン州ノヴァイ市出張報告① ～ノヴァイ市立図書館を訪問して～

クレアニューヨーク事務所

2014 年 5 月 12 日 (月) ～15 日 (木)、ミシガン州のノヴァイ市を訪問し市の施設等を訪問する機会を得ました。

ノヴァイ市は、自動車産業が集積するデトロイト中心部から約 40km 北西に位置し、ミシガン州の中でも近年成長が著しい都市の一つです。また、多くの日系企業が立地していることから、同市の人口約 55,000 人 (2010 年統計) のうち日本人は約 2,600 人 (2013 年 4 月現在) と、ミシガン州の都市の中で最大となっています。今回、日系人社会と強く関わりを持つ同市の市立図書館の視察を行いましたので、概要を報告します。

1 ノヴァイ市立図書館の概要

ノヴァイ市立図書館は、市の大規模プロジェクトとして、工事費約 10 億円をかけて施工し、2010 年 6 月にオープンしました。延べ床面積は、約 5,100 m² であり、これは、日本の市区立図書館の平均 1,340 m²¹ と比べてもかなりの広さです。この図書館の建設にあたっては、事業家から約 1 億円もの寄付があったことから、図書館の名も、その人に因んで“Charles and Myrtle Walker Novi Public Library”と名付けられています。また、図書館の運営には、市の職員はもちろんのこと、Friends と呼ばれるボランティアの方々の支援が大きく関わっています。Friends のメンバーは 575 人を超え、資金調達も含め、様々な活動を行っています。



2 充実した施設

バリアフリー化された綺麗な施設で、まず目を引くのは、館内至る所に飾られた手作りタイルです。全部で 1,600 枚あるタイルには、世界各地の動物や建物、風習などが描かれ、テーマに沿った形で配置されています。それ以外にも、絵画や彫刻などが館内外に配置され、全てアート作品として展示されています。展示されている作品の説明は、オーディオツアーとして、個人の携



¹ 2013 年日本図書館協会『日本の図書館 統計と名簿』2013 年集計
<http://www.jla.or.jp/library/statistics/tabid/94/Default.aspx>

帯から指定番号へ電話することで聴くことができます。
のようになっています。



館内には、約 15 万冊の本が所蔵され、日本を始め、国際色豊かな住民に合わせた書籍が取り揃えられています。貸出期間は、本が 3 週間、DVD は 1 週間で、市民だけでなく、勤務先がノヴァイ市の人も借りることができ、かつ連携する 60 の図書館から本を取り寄せて借りることもできます。貸出及び返却は、日本でも最近増えてきている Self-Check-Out システムが導入されており、利用者自らが機械で処理することも可能となっています。一日当たりの平均利用者は、約 1,200 人であり、図書館からほど近いノヴァイ高校の生徒がよく利用しているとのことでした。訪問した日も、沢山の高校生が、思い思いの場所で読書や学習をしていました。



また、館内には、誰でも利用可能なカフェが併設されています。図書館の周囲には、市役所や警察など公共施設はあるものの、飲食店等は全く無いため、長時間図書館で学習や打ち合わせなどしても困らないよう、メニューも充実していました。ほかには、Drive-Up-Window という、乗車したままで予約した本の受け取りや返却ができる場所も整備されており、車社会アメリカならではの設備を目にすることも出来ました。



3 所感

約 1 時間の訪問でしたが、市民の憩いの場であり、かつ交流の場ともなっている市立図書館を訪問できたことは、私にとって非常に有益なものでした。また、市の職員の方が、市で一番自慢できる施設であるとおっしゃっていた通り、非常に充実した素晴らしい施設でした。

ノヴァイ市は、商業施設や工業施設の開発を行いながら経済成長を続けていますが、市立図書館についても、それに併せるように、これまでに数回、拡充や建替えを行ってきています。市の人口が増加し続けているのは、市として、住民の意見に耳を傾けながら計画的に公共施設を充実させ、継続的に住みやすい街づくりを進めている結果であることを今回の訪問を通して実感しました。私自身、図書館の雰囲気が好きで、ニューヨークにおいても公立図書館などで時間を費やすことがありますが、住民にとって誰でも自由に利用できる公共の場は必要であり、それが居住地を決める一つの要因になることも少なくありません。ノヴァイ市の取り組みは、日本の地方都市でも活かせる部分は多く、大いに参考となりました。ノヴァイ市と当事務所との連携関係が、今後も継続し、一層緊密となるよう、私としても微力ながら取り組んでいきたいと思っております。

(松田所長補佐 岩手県派遣)